

# 地域の課題探究、成果報告

三戸



生徒が地域課題の探究結果を発表した  
「三戸みらいキャンバス」の報告会

## 三戸高「みらいキャンバス」

地域社会の課題を見つけて解決方法を探究し実際に取り組む「三戸みらいキャンバス」の報告会が1日、三戸高体育館で開かれた。2、3年生57人が本年度取り組みだイベント・商品開発の企画や職業研究などの実践結果21件を、1年生や協力してくれた地域住民を前に発表した。

探究プログラムを通して、三戸郡と自分自身の「みらい」を考えて行動に移すのが目的。3年生は成果報告、2年生は中間報告として実施した。

生徒は、テーマ設定の理由や解決するための仮説、探究結果や得られた学びを5分間

のプレゼンテーションにまとめた。4グループに分かれて発表してそれぞれ優秀発表を互選し、選ばれた2団体・2個人がステージ上で発表した。

2団体は、南部まつりで飲食ブースとお化け屋敷を出展した取り組みを発表し、「試作を繰り返し品質を高めるのが楽しかった」「地域活性化のため若者がイベントを企画するのが大切だと分かった」と語った。2個人は、国史跡三戸城跡の活用を促進する策と、特産物を活用した商品開発で地域活性化を目指す方法を提案した。

最後に直町年行校長が「探究で浮上する課題を解決し続ければ、充実感が得られて自然とスキルが身につく。学習でも常に改善を繰り返してほしい」と講評した。

(熊谷勝之)